

本県の情報モラルの指導に関する実態調査結果からの課題を基に、情報モラルの指導の進め方と指導を推進するための校内推進体制づくり、家庭との連携について研究を進めてきた。

情報モラルの指導については、その考え方と具体的な実践の事例を基に、「ICT活用を通じた情報モラルの指導」について本章で、「総合単元的な情報モラルの指導」について第4章で述べる。また、「年間指導計画の作成と職員研修の充実」については第5章で、「家庭との連携」については第6章で述べる。

1 ICT活用を通じた情報モラルの指導の考え方

情報モラルの指導は、道徳の時間の中で「心を磨く領域」の内容を中心として、考えさせる学習活動を展開すると同時に、各教科等の授業の中で、随時教科等の指導内容と情報モラルに関する指導内容を関連付けて、日常的に指導を行うことが大切である。

各教科等の指導において、ICTを効果的に活用することが重要であり、そのことは、各教科等の目標をよりよく達成することにもつながる。また、ICT活用を「情報社会における体験活動」と位置付け、具体的体験を通して情報モラルの指導を行うことで、効果的なものとするができる。このことから、ICT活用を通して各教科等の指導目標に迫るとともに、情報活用の場面において情報モラルに係る指導内容を適切に指導していくことが重要であり、児童生徒は、様々な活動を基に実感をもって情報モラルを理解していくことができる。

また、児童生徒の発達の段階や学習指導の状況を踏まえ、学校全体でICTを積極的に活用するとともに、体系的に情報モラルの指導に取り組むことで、学校生活や社会生活の様々な場面で情報モラルを学び、適正な判断に基づいた行動をするという考え方と、態度を養っていくことになる。

2 情報モラルの指導に用いる教材の活用

情報モラルの指導に用いる教材については、インターネット上に無料で利用できる教材や市販されている教材など多数の教材がある。また、ビデオクリップや学習指導案形式による授業実践事例の資料も公開されている。先進的な取組をしている教員の授業実践事例を参考にすることで、授業構想の負担を軽くするだけでなく、質の高い授業づくりにも役立つ。

指導事例については、具体的な学習指導案と指導状況の分かるビデオクリップが一緒に提供されているサイトや、学習指導案と実際の指導で使用した教材が一緒に提供されているサイトなどがある。文部科学省も委託事業の中で多くの情報を提供しているので、校内研修や実際の授業で積極的に活用することが重要である。

教材は、Webサイト上の諸トラブルについて疑似体験したり、クイズ形式で様々な問題点について考えることにより、情報モラルに係る知識を確認したりするなど、情報安全教育に関するものを中心に様々な教材が提供されている。特に、インターネット上のトラブルについては、実際に直接児童生徒に体験させることができないため、このような教材を有効に活用して情報社会における体験活動として擬似的に体験させていくことが重要である。しかし、「心を磨く領域」の指導に利用できる教材については不足しており、今後の整備が望まれる。

当教育センターのWebサイトにおいて、情報モラルの指導事例や教材等を容易に利用できるようにリンク集^{※4}を作成しているのでぜひ活用していただきたい。

※4 情報モラルの指導に役立つリンク集 <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/curriculum/jouhoukyou/moral/top.html>

3 ICTを活用した情報モラルの指導

平成21・22年度に実施した各教科等におけるICT活用に、情報モラルの指導を位置付けた指導例を紹介する。

【小学校】

社 会	第5学年	単元名：くらしを支える情報（情報社会に生きる）
ICT活用 及び情報モ ラルの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮想ホームページを活用しての情報閲覧 ・ 情報の信憑性<small>しんぴょうせい</small> ・ 情報の受信・発信する際の内容と注意点 	
指導目標	身の回りには様々な情報があり、それが身近な生活場面で役立てられていることに気付かせるとともに、情報を主体的に収集・選択して活用したり、発信したりすることの大切さについて考えさせる。	
学習過程	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童のインターネット利用状況に関するアンケート結果を見る。 2 学習目標を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ネットの利用で気を付けなければならないことを考えよう。 </div> 3 事例教材を見て話し合う。 <ol style="list-style-type: none"> (1) あらかじめ準備したアイドルの情報を見て情報の信憑性を考える。 (2) 個人の顔写真、氏名、住所、電話番号が載ったホームページを見て、何が問題なのか考える。 4 情報を送受信する際に気を付けなければならないことを考える。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報を受信する際は、情報の真偽について考えるとともに、その情報が必要かどうかを判断する必要があることを理解する。 (2) 情報を発信する際は、個人情報や公開しない、他の人が作ったものを勝手に使わないということを確認する。 5 インターネット環境の特徴について知る。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 公開された情報は、完全に削除することができないことを知る。 (2) 他人が作った作品や他人の写真を勝手に使うことは法律に違反することを知る。 (3) 何か困ったことがあったら、すぐ周囲の大人に相談することを知る。 	

【中学校】

技術・家庭	第2学年	単元名：携帯電話の使い方を考えよう
ICT活用 及び情報モ ラルの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果を大きく表示しての課題の確認 ・ Webサイト上の動画教材による携帯電話使用に係る問題点の提示 	
指導目標	携帯電話の技術的な仕組みについて理解させるとともに、適切な使い方について考える態度を育てる。	
学習過程	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の携帯電話の利用に関するアンケート結果を見る。 2 学習目標を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 携帯電話の使い方を考えよう。 </div> 3 前時に行った「携帯電話でできること」について確認し、インターネット 	

学習過程	<p>を利用する場合と、利用しない場合に分ける。</p> <p>4 携帯電話を使うときに起きる問題点（インターネット未使用時）について動画を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで問題点を整理・確認する。 <p>5 携帯電話を使う時に起きる問題点（インターネット使用時）について動画を視聴する。</p> <p>(1) 問題点を整理・確認する。</p> <p>(2) 携帯電話を使用するときのルールを考え、ワークシートに記入する。</p> <p>6 携帯電話を使用する上で考えたルールを発表する。</p> <p>7 ワークシートを見直し、自宅で家族と話し合う準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えたルールをワークシートに記入し、封筒に入れる。 <p>(ワークシートを持ち帰り、考えたルールを基に家族で話し合う。)</p>
------	--

【高等学校 1】

教科「情報」	第 1 学年	単元名：情報化社会のセキュリティとモラル
I C T 活用 及び情報モ ラルの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットを使った著作権についての検索 ・ 著作権を守る理由についての話し合い ・ 著作物を利用する上での注意点の話し合い 	
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 著作権、肖像権を理解し、なぜ守る必要があるのかについて考えさせる。 ・ 著作物を使用する場合の方法について理解させる。 ・ ネットの危険な面と有益な面を理解し、有効に活用できるようにさせる。 	
学習過程	<p>1 著作物の利用について事例を基に考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>著作物を利用する上で、どのようなことに気を付ければよいのだろう。</p> </div> <p>2 インターネットを使って著作権とは何かを調べる。</p> <p>3 著作権を守るのはなぜかを考える。</p> <p>(1) 複製された事例を見て、自分が著作者だったらどのように感じるか考える。</p> <p>(2) 著作物は、多額の資金と時間をかけて作ったものがあり、簡単に模倣することは許されないことを理解する。</p> <p>(3) 導入時の事例について再度考える。</p> <p>(4) デジタルデータが簡単に複製、加工できることを理解する。</p> <p style="padding-left: 20px;">「画像の保存→加工」，「画面コピー→加工」</p> <p>(5) 一度Web上に流れた情報は回収できず、誰でも容易に加工できることを知る。</p> <p>4 著作物を利用する上でどのようなことに気を付けなければいけないかを考える。</p> <p>5 ネットワークの普及に伴い、デジタルデータを共有できるようになった一方で、著作権や肖像権の侵害の事例が増えてきているため、利用者の責任を意識することが大切であることを理解する。</p>	

【高等学校 2】

教科「情報」	第1学年	単元名：情報の収集・発信と情報機器の活用
I C T活用 及び情報モラルの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子掲示板・チャットの疑似体験 ・ コミュニケーションとその問題点 	
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報の保護の必要性和個人の責任を意識させる。 ・ 情報を発信するときの態度を養う。 ・ 情報モラルに反する行為の実態を示し、適切に対応することの大切さを理解させる。 	
学習過程	<ol style="list-style-type: none"> 1 電子掲示板・チャットの体験をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">情報の収集・発信について考えよう。</div> 2 文字だけの情報の特性について理解する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) メッセージの事例を基に文章の内容を考える。 (2) 同じ内容の二つの手書き文章を読み比べる。 3 電子掲示板などでのトラブルについて知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子掲示板に関連した事件などの具体例を見る。 4 電子掲示板などで不適切な発言が問題になった具体例を見て、そのような問題がおこる理由を2～4人のグループで考える。 5 電子掲示板への書き込みが犯罪行為となった多くのケースで、書き込んだ人物が特定されていることを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 電子掲示板に書き込みを行った際に履歴が記録される様子を見る。 (2) 閲覧、書込の記録からシステム管理者が書き込んだ人物を特定することは不可能ではないことを知る。 6 機械が相手であってもコミュニケーションである以上、必ずその先には人がいることを意識し、相手に配慮した情報発信に心がけなければならないことを理解する。 	

これまでの研究で、インターネット上の教材、校内ネットワークを利用した疑似体験や動画の教材などを活用し、「情報社会における体験活動」を学習指導に位置付けることで、児童生徒が実感をもって、ネットワーク上の危険等について学習することができた。このことから、各教科等でI C Tを活用した学習指導に情報モラルの指導内容を位置付けた指導をすることで、「知恵を磨く領域」の指導に有効であることが分かった。その反面、「心を磨く領域」の指導が十分に行われない現状があることが課題として捉えられた。

そこで、I C Tの活用を「情報社会における体験活動」と位置付け、道徳の時間で「心を磨く領域」の指導を行う際に、「情報社会における体験活動」と関連付け、総合単元的に展開することで、課題の解決を図ることができるのではないかと考えた。